

鈴鹿・亀山版

MADE IN...

地域経済の現場から

「国産の木材を多くのギなどの材料はすべて国人に使ってもらい、良き産。そのほとんどは県内を知ってもらえたら」。産だ。

木の家造りや家具・雑貨 一九七五年に製材会社店の経営などを手がける として設立、二〇〇五年 亀山市の「三栄林産」取 から建築も始めた。同社 総役、坂土哉さん(三)は れが目立ち、川の水量も 減ったことから「原因は

原木の丸太を仕入れ、 自社で加工、建築し、木 国産材が使われないから 風合いを生かした内装 には上げる。ヒノキやス



坂土哉さん

ば」との思いがあった。 同時に、木を使った雑 貨や家具などを扱う「フ ッティーハウススリビン グ」も開店。坂さんが、

▷④

木の家造りや家具・雑貨店経営・三栄林産



国産材の原木や家具などが並ぶ店内—亀山市加太中在家で

東京のリサイクルショップとに「店の形だと気軽に」と発案した。 店名の「フッティ」は 「節だらけの」という意 味で、店内に並ぶ原木や 家具には節が所々にあ る。「節は嫌われがちだ が、これがあることが木 物の木の証し」と坂さ

【メモ】三栄林産の所在 務め、坂さんら3人の息子 も経営に携わる。 ノッティハウススリビン グでは、オーダーメイドの 家具製作も手がけるほか、 「木を隅々まで活用しよ

0万円。社員は7人。坂さ んの父の義明さんが社長を 「木を隅々まで活用しよ う」と建築端材から作っ た、オリジナルの雑貨など 知られることを願ってい

る。 (井波和夫)

国産材の魅力アピール